

## 『情報科』大学入学者選抜における評価手法に関連した実態把握 調査票

調査票は全3枚・質問は1～16まであります。以下のA～Cいずれかの方法でご回答ください。

- A. FAXによる送付：072-494-0798（大阪府立岬高等学校 加藤 光 宛）
- B. 回答用紙を添付の上、指定のメールアドレス（survey2017@osakajoho.net）へ送付
- C. 研究会Web（<http://osakajoho.net/db/>）よりリンクの回答フォームに入力

FAXで回答する場合は、該当する口を  に塗りつぶすか  をお願いします。

### 【学校および連絡先に関して】

- a. 設置者  国立  府立  市立  私立  株式会社立
- b. 学校名（）
- c. 学科  普通科  専門学科  総合学科  その他
- d. 教科情報を担当する教員数 常勤教員（）人 非常勤講師（）人
- e. 連絡先（この連絡先にアンケート集計結果等をe-mailにて送付させていただきます）  
連絡先ご担当者名（）  
E-mail（）

### 【現在の授業に関して】

- 1：現在の授業形態をお教えてください（複数選択・可）  
 クラスを1人で担当  少人数講座を1人で担当  クラスを複数教員で担当  
 少人数講座を複数教員で担当  その他（）
- 2：授業に占める実習割合 約（）%（10%単位でお答えください）
- 3：教科書や教材等の使用割合（10%単位で計100%になるようお答えください。当てはまらない場合は0%）  
教科書（）% 副読本・ワーク（）% 映像教材（）%  
独自教材（）% その他教材（）%

### 【現在の生徒の評価方法について】

- 4：共通教科「情報」（社会と情報、情報の科学、専門学科による代替科目等）で現在の生徒の評価方法の重みを教えてください（10%単位で計100%になるようお答えください。当てはまらない場合は0%）  
試験（授業内も含む）（）% 提出物（）% 生徒の相互評価（）%  
生徒の自己評価（）% 検定・資格の取得（）% 授業内学習態度（）%  
実技（）% その他<  >（）%

### 5：小テストを含むテストを行っている場合、その方法をお教えてください（複数選択・可）

- テストは行っていない  筆記（記述式）  筆記（選択式）  マークシート（GRなど）
- CBT（コンピュータ上で行なうテスト）（記述式）
- CBT（コンピュータ上で行なうテスト）（選択式）
- CBT（コンピュータ上で行なうテスト）（タイピング試験等その他）
- その他（）

【次期学習指導要領における、教科「情報」に関連した質問】

6：次期学習指導要領では、共通教科情報の科目構成が、情報Ⅰ・Ⅱになることを知っていますか

- 知っている 知らない

7：情報Ⅰ、Ⅱとは、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第197号）」において、以下の概要が示されています。

現在指導している内容があればお答えください（詳細をご覧になりたい方は別添資料2を参照ください）

（項目の構成案）

「情報Ⅰ」（情報と情報技術を問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方等を育成する共通必修科目）  
問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育む科目

(1) 情報社会の問題解決

中学校までに経験した問題解決の手法や情報モラルなどを振り返り、これを情報社会の問題の発見と解決に適用して、情報社会への参画について考える。

(2) コミュニケーションと情報デザイン

情報デザインに配慮した的確なコミュニケーションの力を育む。

(3) コンピュータとプログラミング

プログラミングによりコンピュータを活用する力、事象をモデル化して問題を発見したりシミュレーションを通してモデル化を評価したりする力を育む。

(4) 情報通信ネットワークとデータの利用

情報通信ネットワークを用いてデータを活用する力を育む。

「情報Ⅱ」（発展的な内容の選択科目）

「情報Ⅰ」において培った基礎の上に、問題の発見・解決に向けて、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用し、あるいは情報コンテンツを創造する力を育む科目

(1) 情報社会の進展と情報技術

情報社会の進展と情報技術との関係について歴史的に捉え、AI等の技術も含め将来を展望する。

(2) コミュニケーションと情報コンテンツ

画像や音、動画を含む情報コンテンツを用いた豊かなコミュニケーションの力を育む。

(3) 情報とデータサイエンス

データサイエンスの手法を活用して情報を精査する力を育む。

(4) 情報システムとプログラミング

情報システムを活用するためのプログラミングの力を育む。

○ 課題研究

情報Ⅰ及び情報Ⅱの(1)～(4)における学習を総合し深化させ、問題の発見・解決に取り組み、新たな価値を創造する。

どれも取り組んでいない

【次期学習指導要領で問われる「思考力・判断力・表現力」について】

次期学習指導要領では、各教科において、思考力・判断力・表現力を評価することが求められ、情報科においては、次の力を言います。

- ・ 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉える力
- ・ 問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力

思考力・判断力・表現力を育むための授業を行うためには、どの形態がふさわしいと考えますか

8：授業形式（少人数とは、40人未満の場合を指します）

- 1人  少人数  TT (Team Teaching)  少人数かつTT (Team Teaching)  その他

9：授業時間

- 通常コマ（45～50分）離散  通常コマ連続  長時間コマ（90分など）

その他

10. 思考力・判断力・表現力を育むための授業を行うためには、どのような教材が必要と考えますか  
ご自由にお書きください。

11. 思考力・判断力・表現力を育み、評価するためにはどのような方法を取ることがよいと考えますか。  
具体的にご意見がある方は、その他にお書きください

- 提出物
- 試験（授業内も含む）
- 生徒の相互評価
- 生徒の自己評価
- 検定・資格の取得
- 授業内学習態度
- 実技（発表を含む）
- 授業内の制作課題・作品
- その他（ ）

【大学入試における教科「情報」に関連して】

大学入試センター試験の後継試験「（仮称）大学入学希望者学力評価テスト」（以下評価テスト）の中で教科情報を課することが検討されています。

12. 高知大学や慶応義塾大学など一部大学で教科「情報」が入試科目として出題されていることを  
（ 知っている、知らない ）

13. 情報入試を大学希望者学力評価テストの一部として課すことに （ 賛成 反対 ）  
その理由（ ）

14. 評価テストの中で「思考力・判断力・表現力」を問うことができますか（ はい いいえ ）  
その理由（ ）

15. 国公立大学の二次試験や私立大学での一般入試で教科「情報」が入試科目として広がることに  
（ 賛成 反対 ）  
その理由（ ）

16. その他、別添資料1と2をご覧の上、意見があればご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先・メールによる回答先：[survey2017@osaka.joho.net](mailto:survey2017@osaka.joho.net)